

講演会

「小中一貫教育」でどうなるこれからの学校

～子どもの成長・発達と学校統廃合を考える～

小山市では2017年度から「小山市型小中一貫教育」が推進されています。絹地区では3つの小学校と1つの中学校を統合した絹義務教育学校が設立され、豊田地区では2021年の開校目指して整備が進められています。他の中学校区においても「併設型小学校・中学校」への移行等も含めて学校制度や学校運営体制の在り方について検討していくとされています。

「小中一貫教育」については、子どもの成長・発達の視点や公共施設等総合管理計画での学校統廃合という面からの問題点も指摘されており、小中一貫教育の推進でこれからの学校がどうなるかを考えます。

❖日時 2017年10月15日(日)
13:30～16:00

❖講師 山本由美氏(和光大学教授)

和光大学現代人間学部教授。東京自治問題研究所常任理事。
「学校統廃合と小中一貫教育を考えるネットワーク」代表。
『「小中一貫で」学校が消える』(編著、新日本出版社、2016年)、
『小中一貫教育を検証する』(編著、花伝社、2010年)、
『学力体制とは何か』(同、2009年)、『ベストスクール』(同、2002年)など著作多数。

❖ところ 市民活動センター
「おやま～る」研修室

〒323-0025 小山市 城山町3丁目7-5 城山
サクラコムビル2階 TEL 0285-20-5562

※駐車場は小山市役所駐車場を利用ください。

❖資料代 500円

❖参加申し込みは、下記連絡先まで。

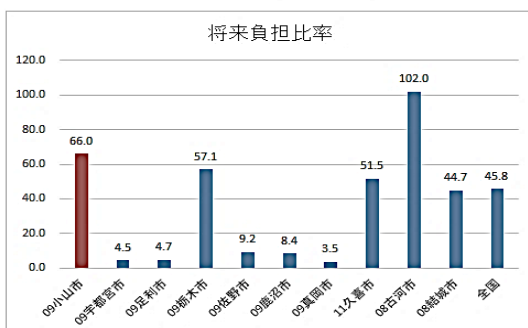


主催 小山市民自治研究会

連絡先 E-mail machiken@tvoyama.ne.jp

電話 09079096740(山口)、08065954882(灰野)

関連団体を含む返済能力。
早期健全化基準:350



小山市民自治研究会とは

2014年6月に小山市と近隣自治体の市民が集まって発足した市民団体です。これまでに
ごみ問題、新保育制度、財政分析(継続取組中)などについて、学習等を行ってきました。
自治体を取り巻く様々な課題について、一緒に考えてみませんか?